

平成 28 年 6 月 29 日

大学等放射線施設協議会団体会員各位

大学等放射線施設協議会
老朽化対策ワーキンググループ

『地下埋設型貯留槽・配管実態調査』アンケートの依頼

平素より、大学等放射線施設協議会にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

昨今、RI 施設における地下埋設型貯留槽や配管からの放射性物質漏洩の危険性が問題視されています。一方、貯留槽や配管の地上化は莫大な費用がかかり、予算化が難しい現状があります。そこで、

- ・ 現在、大学等の RI 施設に設置されている地下埋設型貯留槽・配管の数
- ・ 地下埋設型貯留槽・配管設置後の経過年数
- ・ 漏水事故が発生するまでの経過年数

などの実態を把握、数値化することにより、国への老朽化対策に対する働きかけや、各施設の改修工事予算獲得のための資料となる標記アンケートを実施することといたしました。

ご多忙の折とは存じますが、下記の要領でアンケートにご回答いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。なお本アンケートの結果は、『平成28年度 大学等における放射線安全管理研修会』（平成28年8月30日於東大弥生講堂）にて発表させていただくとともに、協議会ホームページに掲載させていただきます。

記

回答方法 協議会 HP から下記 URL にアクセスして回答いただくか、
<http://goo.gl/forms/W31myYQ7re9z0gtZ2>
PDF ファイルに回答を記載いただき、協議会宛電子メール
(kyogikai@ric.u-tokyo.ac.jp)の添付ファイルとして送信して下さい。

回答期限 平成 28 年 7 月 31 日（日）

以上